

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 火曜日 1 校時	選択	単位数 2
授業科目/(英語名)	言語と芸術(工芸) Language and Art (craft)		
対象年次 1・2年次	講義形態 講義	教室	
対象学生(クラス等)	全学部	科目分類	人文・社会科学科目
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員：菅野弘之/E メールアドレス：kankan@nagasaki-u.ac.jp/研究室：教育学部 美術・技術棟 2 0 5 /オフィスアワー:前期 火曜日 11 時 50 分～12 時20分			
担当教員(オムニバス科目等)			
授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標 (500 文字) 授業のねらい:感性への意識を傾け、制作や発表、レポートを通して感じたことについて作品と言葉を使って表現できる。 授業方法:感性一感じることにについて 様々な方法や工夫、科学的な原理があることを学ぶ。実際に竹等を使って制作することによって五感と言葉と作品の相互関係を思考し、発表・鑑賞会やレポートを提出する。感性を表現することについての表現能力について評価する。 授業到達目標: ①感じることへの意識を高める。②発表や制作、レポートを通して、道具(手工具)を使って作った工芸玩具について、制作過程において素材から感じたことや道具から感じたことについて説明できる。③他の人の作品や伝統工芸作品を鑑賞し、感じ方や創意工夫の多様性を涵養する。			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300 文字) 授業内容(概要) 第1回 授業説明、今まで習ってきた図画工作・美術の授業を振り返って 第2回 感じること 感性 について 第3回 長崎の伝統工芸・玩具 凧(ハタ) ・ 独楽について 第4回 竹とんぼ の デザイン と 道具 と 竹(素材) 第5回 飛ぶ 原理 と 感 性 第6回 道具と素材から感じ取る 1 第7回 2 第8回 3 第9回 中間発表 第10回 道具と素材から感じ取る 4 第11回 5 第12回 6 第13回 発表会(鑑賞会) 第14回 レポート作成(竹とんぼ と プンブンこま)写真貼付のこと 第15回 まとめ(レポート提出)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	各自準備する道具として 切り出し (カッターナイフ禁止) サンドペーパー等 教材の竹については授業時に説明		
成績評価の方法・基準等	レポート60点、授業への取り組み方(発表)40 点		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)	予習として「プンブンこま」を数個 制作(授業時に説明)し感じたことや工夫したことを記録しておくこと 最後のレポートの 1 項目として写真・コメントの提出		